

市況スポット情報

2012/2/8
岡藤商事株式会社

	先限引値	前日比		先限引値	前日比
東京金	4,349	88	東京ゴム	325.9	6.8
東京銀	84.4	2.1	日経東工商品指数	288.1	0.0
東京白金	4,119	100	東京とうもろこし	23,380	90
東京パラジウム	1,775	26	東京一般大豆	40,130	490
東京原油	54,200	460	東穀コメ	14,140	60
東京ガソリン	67,500	560	東京小豆	11,560	-10
東京灯油	65,270	840	東京アラビカコーヒー	24,900	100
東京軽油	67,500	250	東京粗糖	42,080	0

東京工業品取引所銘柄は帳入値
日経東工商品指数は限月先物取引

【貴金属】

貴金属市場は、本日は全面高。アジア日中は今朝方からのユーロ買い円安の流れが続きドル建て相場は確り。円全面安もあり TOCOM を押し上げた。バーナンキ議長の証言での金融緩和継続の見方を再度確認し 1 月 FOMC 時と同様の買い戻し急伸となった。白金は買いがたまっておらず、実需背景の買い。ギリシヤは追加支援がまとまればセンチメント好転あり。東京 15 時 30 分時点のスポット市場は金が 1750.86 / 1751.63 ドル、白金が 1651.99 / 1659.50 ドル、銀が 34.28 / 34.32 ドル、パラジウムが 707.58 / 714.58 ドルで推移。

【東京原油・石油製品】

石油市場は引き続いての全面高。WTI は BERNT との値差を拡大しつつ買い戻しもあり続落回避の上昇。しかし、在庫の重さに期近には重さあり。一方の BRENT は北海短期供給減見通しや 2 月積みカーゴの積み出し遅れ、アジア向け実需の買い余地あり。オマーン原油を高値に誘導しつつ TOCOM 相場を押し上げている。東京 15 時 30 分時点の WTI3 月限は 99.22 ドルで推移。

【東京ゴム】

東京ゴムは TOCOM からの買い進みが上海の上げにつながり続伸傾向が強まる。上海市場は逆ザヤを形成しつつの高どまり。タイ産地での原料ゴム USS は本日は小幅高としっかり。産地での原料ゴムの入荷は増加しているが介入目標 120 パーツ接近中。

【東京トウモロコシ】

東京トウモロコシは中限は確りながら、先限は小幅安と調整色強まる。シカゴ市場は小麦ともどもアジア時間では小動き。南米アルゼンチンでの天候見通しが焦点だが、小麦を含めての世界需給バランスを見つても上値追い持続と米国産輸出需要シフトを確認して行く。9 日の USDA 需給見通し発表待ち。東京 15 時 30 分時点のシカゴコーン 3 月限は 644.50 セントで推移。

<p>【東京大豆】 東京一般大豆は全般に確り。アジア時間のシカゴ市場は小幅安ながら円安もあり下値を切り上げる。アルゼンチン産地では乾燥天候から減産見通しにあり、9日 USDA 需給見通しで再度、ファンダメンタルズを確認して行く動きに。東京 15 時 30 分時点のシカゴ大豆 3 月限は 1238.75 セントで推移に。</p>
<p>【東穀コメ】 東穀のコメは小幅高と久々の反発。端境期を迎えての銘柄米の現物流通には依然としてひっ迫感が残る。24 年産福島産作付けに不透明感が残るが、中通り米の受け渡し過多を吸収しつつ、次第に反転も。</p>
<p>【東京小豆】 小豆は小幅高と全般確り。北海道での収穫は 12 月で確定。中国からの加糖アン等加工品輸入を見ながらの動き。先週は売り反動で買い戻し気味であったが、円安気配もあり地合いは確り。</p>
<p>【コーヒー】 東京アラビカコーヒーは出来高閑散の状態が続き玉次第の動き。NY は南米からの供給見通しを背景に需給緩和から下落傾向しつつ保合の域内を出ず。アジア需給もベトナムが輸出在庫保持で需給はタイト。 但し TGE は高い閑散注意。</p>
<p>【東京粗糖】 東京粗糖は高い閑散な中での反発。短期需給はロンドン白糖は一転して反発しつつ戻りを試す。NY も戻りをテストへ。 TGE は依然、出来高閑散にて市場参入時には注意を。</p>
<p>【東京為替】 東京時間のドル円は 76.75 ~ 77.10 円で円全面安気味。豪ドルロングのたまり解消は大きくは進まず。ユーロドルが米金融緩和継続で買われ反転上昇。次第にユーロ全面高の円全面安傾向となる。目先のドル円は 77 円越えワントライを経ての 77.30 ~ 77.60 円方向か。日銀のマネタリーベース増が効いているのか円の弱さが目立つ。東京 16 時 34 分時点で、ドル円は 77.10 円、ユーロドルは 1.3266 ドル、ユーロ円は 102.29 円で推移している。</p>

日中立会終了時点で作成しています。

■ 取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)当たり最高 166,000 円、最低 17,000 円です(2012 年 2 月 1 日現在)。但し、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。また、その額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

[取引証拠金額一覧表] <http://www.okato.co.jp/okato/expert/pdf/honsyo.pdf>

※証拠金合計額は、各銘柄「売」・「買」の残玉枚数が多い方の値に、各銘柄 1 枚当たりの取引証拠金額を乗じ、これらを合算した金額になります。(追加の預託:「納会月割増額」の必要がある場合は、各銘柄「売」・「買」の残玉枚数の多い方の値に、「納会月割増額」を乗じた金額も加算されます。)

■ 商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引は証拠金取引であるため、取引の対象である総取引金額(約定値段等)に取引単位の倍率と取引数量を乗じて得た額は、取引証拠金の 5~100 倍程度となります。なお、このレバレッジは 2012 年 2 月 1 日時点のものであり、証拠金額と商品価格によって変動いたします。

■ 商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は取引証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、価格変動が予測に反して推移した場合には大きな損失が発生する可能性があり、また、その変動の幅によっては損失が預託した証拠金を上回る場合がございます。

■ 手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。インターネット商品先物取引『Expert』のシステムを利用した場合、標準取引は全銘柄共通、通常取引 1 枚あたり往復 756 円(内消費税相当額 36 円)・日計り取引 1 枚あたり往復 378 円(内消費税相当額 18 円)、ミニ取引は全銘柄共通、通常取引 1 枚あたり往復 378 円(内消費税相当額 18 円)・日計り取引 1 枚あたり往復 189 円(内消費税相当額 9 円)の委託手数料がかかります。また、電話による代行注文をお受けした場合、1 枚あたり片道 3,150 円(内消費税相当額 150 円)の委託手数料がかかります。(手数料合計額は往復手数料×取引枚数になります。)

上記の手数は 2012 年 2 月 1 日時点のものであり、変更される場合があります。

◇ お取引に関する相談は

岡藤商事株式会社 コールセンター(管理課)

東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-0440

日本商品先物取引協会 相談センター本部

東京都中央区日本橋小網町 9-4 TEL 03-3664-6243

ホームページ <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※当社のディスクロージャー資料は当社または日商協の本支部およびホームページでご確認いただけます。